

開幕直前! 出演者特別インタビュー

いよいよクリスマス、絵本の世界から抜け出したような夢いっぱいのオペラが帰ってくる!
一昨年の公演で、森の中を駆け回るかわいい姿を見せてくれたヘンゼルとグレーテル、あっと驚く迫力満点のマジックで客席を沸かせた魔女。
三人の歌手が、いよいよ間近に迫ったリバイバル公演に向けて熱い想いを語ってくれました。



佐渡さんとの対決(!?)が楽しみ! 成長したところをお見せしたいです。

ヘンゼル役
小野和歌子さん
(ソプラノ)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院独唱専攻修了。05年から2年間スイス・チューリッヒ歌劇場のオペラ研究所IOSに在籍。07年佐渡オペラ「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル役のほか、08年ローマ歌劇場「ばらの騎士」オクタヴィアン役、09年ウィルトバート・ロッシーニ・フェスティバル「プルスキノ氏」マリアンナ役等に出演。

エネルギー溢る日本の現場

前回は、スイスでの研修を終えたあと、日本では第一弾のオペラ出演でした。久々に日本の現場に戻ると、劇場全体に「良いオペラを創ろう!」というエネルギーが満ち溢れているのに驚きました。

今回の再演でも、少年の役と変に気負わずに、こどもの喜びや恐れ、湧き上がってくる勇気や愛に心を寄せて、自然に演じたいと思っています。同じ人間ですものね。

楽しみにしているのは、佐渡さんとの対決(!?)です! 前回の稽古中、非常にありがたい

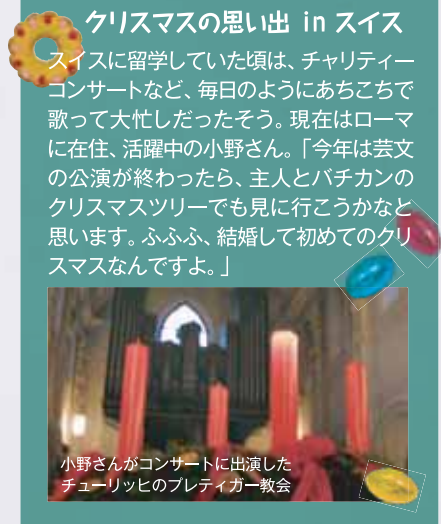
アドバイスをいただいたのです、稽古場の隅に呼ばれて(笑)。その言葉を胸に秘めて2年間勉強してきましたから…成長したところをお見せできるように頑張りたいです。

歌手への夢が膨らんだ作品

実はこの作品には、特別な思い出があります。まだ大学生だった2000年にヘンゼル役でオペラデビューをした時のこと。3幕の冒頭、幕が開き、目をゆっくり開くと、一瞬不思議な感覚に包まれて、本当にドイツの森に迷い込んでしまったような気がしたんです。その時に、「ああ、オペラってすごい、私はオペラ歌手になりたい」と思ってしまった。この体験が今の自分に繋がっています。

音楽の話をする時、このオペラは完璧に作曲されていて、無駄な音がひとつも無い。たった2時間でワーグナーの音の世界が体験できると言ったら、少し言い過ぎでしょうか(作曲家フンパーディンクはワーグナーの影響を受けていました)。例えば、お菓子の家が出てくるころのオーケストラを聴いていると、いつも神々の住むお城でも出てきてしまいそうだなと思います。

芸文の舞台では、驚くような仕掛けがたくさんあって…、ああ、本当は全部お話ししてしまいたい! でも当日までのお楽しみに…。あっ、魔女のかまどで火傷をしないようにご用心!!



小野さんがコンサートに出演したチューリッヒのプレティカー教会



音楽があまりにすばらしい。 本番中に感動して涙が出そうになりました。

グレーテル役
新垣有希子さん
(ソプラノ)

東京藝術大学卒業、同大学院オペラ科修了。07年佐渡オペラ「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル役、東京二期会「天国と地獄」ダイアナ役等を演じる。08年文化庁新進芸術家海外研修で渡伊。09年ボローニャ・ブロードリオ市立歌劇場「ドン・ジョヴァンニ」ツェルリーナ役で出演。

好きな曲が多すぎて絞りきれない

この作品の魅力について話し出すと、ありすぎてお話し切れませんが、まずは音楽のすばらしさですね。前回の公演では、佐渡さん率いるオーケストラのみなさんが楽しんで演奏されていたことが印象的でした。この作品が大好きだという気持ちが伝わってきて。こちらも乗せられて、とても気持ちよく歌わせていただいたことをよく覚えています。

好きな曲も絞り切れませんが、ひとつ選ぶなら間奏曲です。とにかく素敵。ヘンゼルとグレーテルは演技上、眠っているのですが、本番中に感動して涙が出てきそうになったのを覚えています。そして、ダンスを踊る天使たちのかわいいこと! 薄目を開けてこっそり見ていたんですよ(笑)。もうひとつ、「お祈りの二重唱」も大好きです。

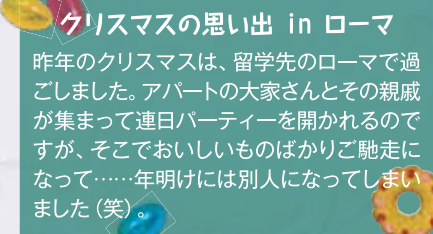
佐渡さんに負けず、はじけたいです!

2007年の公演では、街のみなさまが丸一丸となってこの作品を応援してくださっていることにも感動しました。

今年ふたたび、芸術文化センターの大きな舞台上、グレーテルを演じられることが本当に嬉しいです。2007年に共演したみなさんに会えるのもとても楽しみ。佐渡さんに負けないう、さらにはじけたグレーテルを目指したいです!



「見事な舞台装置は必見です。お菓子の家の場面では、本当に味見したくなりました。」



クリスマスの思い出 in ローマ

昨年のクリスマスは、留学先のローマで過ごしました。アパートの大家さんとその親戚が集まって連日パーティーを開かれるのですが、そこでおいしいものばかりご馳走になって……年明けには別人になってしまいました(笑)。

開幕直前! 出演者特別インタビュー



魔女役 井上美和さん (メゾ・プラ)

神戸女学院大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業。
07年佐渡オペラ「ヘンゼルとグレーテル」魔女役の
ほか、08年関西二期会「セヴィリアの理髪師」ベル
タ役、愛知県文化振興事業団「ファルスタッフ」メグ
役、09年文化庁人材育成オペラ「修道女アンジェリ
カ」公爵夫人役、みつなかオペラ「椿姫」フローラ
役、堺シティオペラ「シンデレラ」継母役等に出演。

ホラー映画で役作り

前は憧れの舞台上に立てることがうれしく
て、半年も前からほうきの飛行訓練やオーブ
ンの仕込みを始めました。というのは冗談で
すが(笑)。ホラー映画などを観て魔女の研
究に励みました。「日本人は下手だ」といわ
れるマント使いもDVDで研究したりして。
『アマデウス』が一番参考になりましたね。

マント以外にも、魔女は実は身につける小
道具が多くて気をつけなければいけないこと

お菓子も子供も大好物なので(笑)、 自然と役に入り込めます。

がたくさんあります。とんがり帽子、魔法の
つえ、長い付け爪、付け鼻など。自分専用の
「ダメ出し帳」に反省点を書き込み、立派な
魔女として自然に振る舞えるよう工夫を重ね
ました。

出演シーンは緊張の連続

魔女が登場するのは第3幕ですが、会場
の期待感が最高潮に高まったところで初め
て姿を現すので、そこでいかにインパクトを
与えられるかが重要です。失敗が許されま
せんから、早くからスタンバイして全神経を
集中させています。ヘンゼルとグレーテルを
縄で捕まえる瞬間も気が抜けない。ゴキブリ
ホイホイになった気分ですねらい打ちです。

役には自然と入り込めます。お菓子も子供
も大好物ですが、公演が近づくにつれて本
当にすべてがおいしそうに見えてきて(笑)。

今回の舞台では、前回の経験を生かして、よ
りいっそう、子供たちをおびき寄せるまでの
優しさと、正体を現してからの恐ろしさの
ギャップを表現したいですね。

夜公演がおすすめ

公演の前後もクリスマスならではのお楽し
みがいっぱいあるのが、芸術文化センターの
素晴らしいところですね。前は公演を見に
きた私の家族が、共通ロビーのお菓子の家
やイルミネーションを見てとても喜んでいま
した。芸術文化センターをとことん味わいつ
くすには、夜公演もおすすめです。



魔女さんのお気に入り

ヘンゼルとグレーテルが道に迷うところは、子
供の頃に親とはぐれて心細かったことを思い
出して、心底かわいそうになります。魔女が
やつつけられて、みんなが「やったー」と歌う
ところも好き。私、やつつけられるんですけど
ね(笑)。

簡単クッキング♪

クリスマスの焼き菓子 ジンジャークッキー

ヨーロッパのクリスマスに欠かせない焼き菓子、
ジンジャークッキー。

「ヘンゼルとグレーテル」に登場するお菓子の家を、
レッツ・クッキング!

材料

A…薄力粉140g、黒糖100g、
ベーキングパウダー小さじ1

B…バター60g、はちみつ50g、卵1個、おろし生姜 小さじ1、
シナモンパウダー小さじ1、

作り方

1. Aをあわせて振るい、そこに滑らかになるまで混ぜ合わせた
Bを加えます。
2. 生地がまとまったら冷蔵庫で1時間ほど寝かせ、オーブンで
180度に温めておきます。
3. 寝かせた生地を取り出したら均等な厚さに伸ばし、人型や
星型など好きな型で抜きとります。
4. 鉄板に並べ、15分ほど焼いたら完成!

★生姜が苦手なお子様には、ココアやバニラを加えてあげるとGood!

佐渡 裕 芸術監督
プロデュースオペラ2009
[リバイバル]

ヘンゼルとグレーテル

音楽: E.フンパーディンク

指揮: 佐渡 裕 演出: 鈴木敬介
[全3幕/日本語上演/字幕つき]

2009 12.19 (土) 20 (日) 22 (火) 23 (水・祝)
[全4公演] 2:00PM 2:00PM 6:30PM 2:00PM

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

芸術文化センターチケットオフィス

0798-68-0255

10:00AM~5:00PM
月曜休※祝日の場合翌日

A 6,500 B 5,000 C 3,500 D 売切 (税込・全席指定)

http://www.gcenter-hyogo.jp 主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター